



### (3) 県負担・補助率の考え方

県 1/2、1/4

担い手育成は、県農業を維持・発展するために必要であり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	9,000	・担い手を育成するための就農研修拠点の整備、新規就農者の経営安定に係る経費を助成。
合計	9,000	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略、ぎふ農業・農村基本計画、岐阜県農業経営基盤強化促進基本方針、岐阜県農地中間管理事業の推進に関する基本方針、担い手育成プロジェクト 2000

### (2) 後年度の財政負担

新規就農者の営農開始や営農定着への支援により、県農業の将来にわたる担い手の確保が図れる。また、担い手への波及効果が期待できることから、継続的な財政負担が必要である。

## 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	新規就農・経営安定支援事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、農業協同組合、国立大学法人 （理由）要領に基づき市町村等が実施
補助事業の概要	（目的）多様な担い手の確保 （内容）就農研修拠点の整備から新規就農者等の経営安定や経営発展に必要な施設修繕の取組みを支援
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）1／2、1／4以内 （理由）担い手育成を推進するため
補助効果	就農後の担い手の営農定着により、県農業の担い手が確保できる
終期の設定	終期 令和7年度 （理由）ぎふ農業・農村基本計画の目標年度

### （事業目標）

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>就農相談者の経営開始から新規就農者の営農定着等を総合的に支援することで、担い手の育成確保を図る。</p>
--

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 新たな担い手の確保	330	検討中	検討中

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円				(要求額) 9,000千円
指標①目標					(R3目標) 検討中
指標①実績					(推計値) —
指標①達成率	%				(推計値) — %
指標②目標					(R3目標) —
指標②実績					(推計値) —

指標②達成率		%				(推計値)	—	%
--------	--	---	--	--	--	-------	---	---

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul>
--

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	○ 就農開始から就農後の担い手の営農定着・経営発展を支援することで、多様な担い手育成に寄与する本事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
---------------------